

『第1回 日本箱庭療法研究会 事例発表・検討会』開催のご報告

R7年11月24日(月・祝)、大阪市立生涯学習センターにて『第1回 日本箱庭療法研究会 事例発表・検討会』を開催しました。当研究会におきましては、過去にも事例検討会や勉強会を不定期的に開催していましたが、今回は日本箱庭療法研究会の商標登録後初めての開催となるため、「第1回」と改めました。

過去に「箱庭心理セラピスト養成講座」を受講された方々の発表やご参加により、和やかで有意義な会となりました。発表者は2名の方のお申し出があり、実際の箱庭事例写真をもとに、丁寧に解説いただきました。参加者の皆さんも興味深く観察し、率直な疑問点や感想を話し合うことができました。

＜2名の発表概要＞

- ・小学5年生男の子の、2年間に作った3つの箱庭事例。時間とともに生じる変化を紹介
- ・ご自身が置いた箱庭を考察。様々な視点から気づきを綴ったnoteの投稿を紹介

また、へき地医療機関に携わる精神科医にも症例をご発表いただきました。皆さんがメモをとりながら真摯に学んでおられる姿が印象的でした。医師とセラピストのお互いの立場から感じ得る共通点や違いなどを述べあい、改めて箱庭療法の有用性に気づくことができました。

＜医師による症例発表＞

- ・精神科受診による診断のない方の症例。境界性パーソナリティ障害の疑いのある方の行動ケースを紹介。過去の生い立ちや現在の問題行動など。箱庭を使用したセラピーの有用性についての考察。

本研究会は来年も開催予定です。今後、定例会としたいと考えておりますので、今回ご都合のつかなかった方も、ぜひ来年お越しいただき、お会いできますことを楽しみにしています。

おわりに、これまでこの研究会活動を継続してこれたのも、箱庭講座をご受講いただき、以後も関心を持って取り組んでくださっている皆さまのおかげであると感謝しております。今後も新しい受講生の方々との出会いを大切に、活動を続けて参ります。皆さま、引き続きどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

R7年12月
日本箱庭療法研究会